

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 12 月 17 日 (2009.12.17)

【公表番号】特表 2009-516428 (P2009-516428A)
 【公表日】平成 21 年 4 月 16 日 (2009.4.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-015
 【出願番号】特願 2008-540201 (P2008-540201)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 12/56 1 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 10 月 30 日 (2009.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ機器において実装された方法であって、
 媒体に依存しないハンドオーバ (M I H) ポイント・オブ・サービス (P o S) へのリンクを O A M (Operation, Administration and maintenance) ピアとして確立するステップと、

O A M プロトコルを使用することによって、前記 M I H P o S への前記リンクのリンク状態を監視するステップと、

前記リンク状態の変化の検出に応じて、前記リンク状態を示す O A M トリガを M I H イベントにマッピングするステップと、

前記 M I H イベントを上位レイヤに報告するステップと
 を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記 O A M プロトコルは I E E E 8 0 2 . 3 a h であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

8 0 2 . 3 a h リンク・アップ・イベントが、M I H リンク・アップ・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

8 0 2 . 3 a h リンク障害イベントが、M I H リンク・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

8 0 2 . 3 a h ダイニング・ギャスプ・イベントが、M I H リンク・ゴーイング・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 O A M プロトコルは、I E E E 8 0 2 . 1 a g であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

リンク状態の変化が検出されたことを示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトが、M I H リンク・アップ・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

M E P (management end point) が 1 つまたは複数の M E P との交信を途絶していることを示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトが、M I H リンク・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

M I H リンク・ゴーイング・ダウン・イベントが、障害を示す前に失われた可能性がある接続性チェック・フレームの数を示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトに基づいて生成されることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 M I H P O S への前記リンクは、8 0 2 . 1 D ブリッジ・ネットワークを介することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記 M I H P O S への前記リンクは、8 0 2 . 1 Q ブリッジ・ネットワークを介することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

ユーザ機器であって、

U E と、媒体に依存しないハンドオーバー (M I H) ポイント・オブ・サービス (P o S) と、の間のリンクを、O A M (Operation, Administration and maintenance) ピアとして確立し、

O A M プロトコルを使用して前記 M I H P o S への前記リンクのリンク状態を監視し、

前記リンク状態の検出された変化を示す O A M トリガを送る、

ように構成される下位レイヤ・エンティティと、

前記 O A M トリガを M I H イベントにマッピングするように構成され、かつ前記 M I H イベントを上位レイヤに報告するように構成される、M I H エンティティとを備えることを特徴とするユーザ機器。

【請求項 13】

前記 O A M プロトコルは I E E E 8 0 2 . 3 a h であることを特徴とする請求項 12 に記載のユーザ機器。

【請求項 14】

8 0 2 . 3 a h リンク・アップ・イベントが、M I H リンク・アップ・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 13 に記載のユーザ機器。

【請求項 15】

8 0 2 . 3 a h リンク障害イベントが、M I H リンク・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 13 に記載のユーザ機器。

【請求項 16】

8 0 2 . 3 a h ダイニング・ギャスプ・イベントが、M I H リンク・ゴーイング・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 13 に記載のユーザ機器。

【請求項 17】

前記 O A M プロトコルは、I E E E 8 0 2 . 1 a g であることを特徴とする請求項 12 に記載のユーザ機器。

【請求項 18】

リンク状態の変化が検出されたことを示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトが、M I H リンク・アップ・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 17 に記載のユーザ機器。

【請求項 19】

M E P (management end point) が 1 つまたは複数の M E P との交信を途絶していることを示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトが、M I H リンク・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 17 に記載のユーザ機器。

【請求項 20】

M I Hリンク・ゴーイング・ダウン・イベントが、障害を示す前に失われた可能性がある接続性チェック・フレームの数を示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトに基づいて生成されることを特徴とする請求項 1 7 に記載のユーザ機器。

【請求項 2 1】

前記 M I H P O S への前記リンクは、 8 0 2 . 1 D ブリッジ・ネットワークを介することを特徴とする請求項 1 2 に記載のユーザ機器。

【請求項 2 2】

前記 M I H P O S への前記リンクは、 8 0 2 . 1 Q ブリッジ・ネットワークを介することを特徴とする請求項 1 2 に記載のユーザ機器。